

# 論理的文章のアウトラインの作成を支援するツールの開発

1632144 三浦 恋 指導教員 須田 宇宙 准教授

## 1 はじめに

大学生に対して、論理的な思考力や論理的文章作成能力の要求が高まっている。しかし、論文やレポートを書く際にアウトラインなどの事前準備をせずに文章の作成を行ってしまう学生が多く、論理的な文章にならないことが問題点として挙げられる。そのため、レポートの書き方の指導や修正を行うライティングセンターの設置などが進められているが自発的に利用しなければ文章作成力は向上しない。

一般に論文や小説などの長文を作成するためのツールとして、アウトラインプロセッサが使用されることが多い。これは、文章を階層的に管理することに主眼が置かれており、学生にとって主張や根拠などが明確で一貫した文章を書く力を養うためのツールではないことが問題点となっている。

そこで本研究では、主張や根拠などが明確で一貫した文章を書く力を身に付け、論文やレポートの作成を支援するアカデミックアウトラインツールを開発することを目的としている。

## 2 アカデミックライティングについて

学生に求められる論文やレポート等は下記 (1)~(5) の特徴が求められる。このような文章を書く技術、書く行為、または書いた物のことをアカデミックライティングと呼ばれている [1]。

- (1) 主張と根拠が明示されている
- (2) 問いと答えの構造と論理的な説明での構成されている
- (3) パラグラフ構造になっている
- (4) 引用の倫理のルールに従っている
- (5) 学術的文章に特有の一定の形式に従っている

## 3 開発したツールについて

本制作では論理的な構成の文章を書く際に準備として、アウトライン作成の支援や主張からずれた文章を書かないよう主張と根拠の確認や参考文献の管理を行うことでアカデミックライティングのルールに沿った文章が作成できると考えた。

論理的文章を書く準備を通学時間などで考えや構成の整理を行いアウトライン作成時間を短くすることにより、論文やレポートを書く時間の確保をすることが可能であると考えため、スマートフォンでの利用を考えた。

本制作では主張が一貫した論理的文章のアウトラインを作成するために、2章で述べた (1),(2),(4) を補助、文章の構成を整理、スマートフォンでの利用を考えたツールを開発

した。(3),(5) においては文章に起こした際の特徴であるため、本制作では対象外とした。また実際に書く文章は別のアプリケーションで記述することにする。

一般的なアウトラインプロセッサと異なり、主張と根拠の明確化や、参考文献を管理することに主眼を置き、アカデミックライティングに沿った文章を作成、スマートフォンでの利用を考え以下の機能を持たせた。

- ① 主張と根拠の明確化  
見返した際に主張からずれた意見が出ることを防ぐため、主張と根拠を登録する機能
- ② 課題に対する疑問とその答えの記入  
課題に対する疑問とそれに対する答えを記述する機能
- ③ 論理的な構成の整理  
一般的なアウトラインプロセッサと同様に論理的文章を書く上で各内容の順番や情報を整理するため順番を入れ替える機能、章や段落の情報を表示する機能
- ④ 参考文献の管理  
文章を作成する際に引用した文献を確認、整理する機能
- ⑤ PWA(Progressive Web Apps)  
モバイル端末でページを表示する際にネイティブアプリと同様の挙動をさせることができる技術

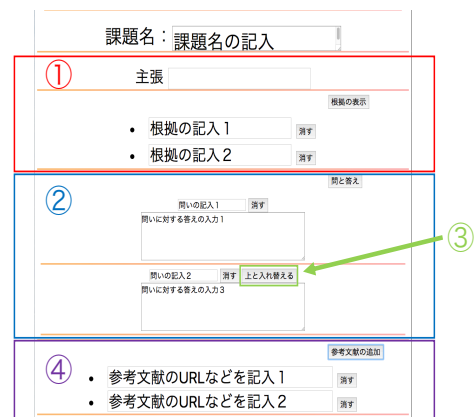


図 1: ツールの構成

## 4 おわりに

本制作では論理的文章のアウトライン作成を支援するツールの制作を行った。

## 参考文献

- [1] 堀 一成, 坂尻 彰宏: "阪大生のためのアカデミックライティング", <https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/27153/Academic%20Writing%20Introduction.pdf>, 2019/8/23 参照